広報
日大山形
第 85 号
令和８年10月９日発行

氣炎万丈

真夏の桜華祭



特別文化講演会

青春を味わい尽くせ

第六十八回　桜華祭
『We “Ate” IT!
～最高の文化祭を味わい尽くせ～』

全校生徒が待ち望んでいた第六十八回桜華祭が八月二十九・三十一日に、盛大に行われた。今年度のテーマは『We “Ate” IT!～最高の文化祭を味わい尽くせ～』。このスローガンのもと、校内での多彩な展示や催しから外部会場での本格的なステージ発表まで、生徒一人ひとりが笑顔と情熱に満ちた最高の時間を創り上げた。


工夫を凝らしたクラス企画


模擬店の様子

一日目

校内での催しでは、各学年や部活動が工夫を凝らした企画を展開し、終日大きな賑わいを見せた。三年生や部活動による模擬店では、ホットドッグやスムージー、揚げパスタなどバラエティ豊かな料理がならび、生徒たちはまさにテーマ通り「文化祭を味わい尽くす」ひとときを心から楽しんでいた。また、二学年のクラス企画では各クラスが趣向を凝らした体験型のアトラクションを用意し、訪れた人々からは完成度の高さに感嘆の声が漏れてた。一学年は、学年全員で力を合わせて巨大なモザイクアートを制作。体育館の後方に大迫力の作品を完成させ、その見事な出来栄えに会場のあちこちから大きな歓声が上がった。


白熱したアームレスリング大会



１学年企画モザイクアート

校内ステージ企画も大いに盛り上がった。生徒会主催の「アームレスリング大会」では、校内から集まった腕自慢の生徒たちが激突。白熱したトーナメントを制した覇者と謎の刺客「Ｍｒ．Ｘ」（教員）による最終決戦では、見事にＭｒ．Ｘが勝利を収めて貫禄を見せつけ、大きな歓声を浴びた。また、第一興商様のご厚意でお借りした本格カラオケ機器「ＤＡＭ」を使用した「のど自慢大会」では、プロ仕様の音響のもとで堂々と歌声を披露する出場者に聴衆が一体となって手拍子を送り、熱狂の渦となった。

二日目

一方で、ステージ発表の場を山形市民会館へと移した催しでは、また一味違った素晴らしい演出が生み出された。熱中症対策の観点から冷房設備の整った施設を活用した取り組みだったが、プロ仕様の音響・照明がフルに活かされたことで、パフォーマンスの迫力は例年以上のものとなり、客席全体が高揚感に包まれた。

フィナーレを飾る特別文化講演には、タレント・芸人のミッチーチェンさんをお招きした。芸人を志したきっかけや学生時代の挫折を乗り越えた実体験、有名芸能人との共演エピソードなどがユーモアを交えて情熱的に語られ、生徒たちの心に深く響く実り多き時間となった。

学びとエンターテインメント、そして感動が凝縮された今年度の桜華祭。準備から運営まで全力で駆け抜けた生徒たちの顔には確かな達成感が満ちあふれていた。ご協力いただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。




文化部発表　（左）演劇部　（中央）吹奏楽部　（右）ダンスドリル部



ミッチーチェンさんによる講演の様子

体育祭

七月九日・十日
於：山形市総合スポーツセンター体育館

一日目

●台風の目
同率一位　黄組　青組
三位　赤組

●三位一体
一位　赤組　同率二位
青組　黄組

●綱引き
一位　黄組　二位　赤組
三位　青組

●しっぽ取り（男子）
一位　青組　二位　赤組
三位　黄組

●しっぽ取り（女子）
一位　赤組　二位　青組
三位　黄組

●障害物競走（男子）
一位　赤組　二位　黄組
三位　青組



●障害物競走（女子）
一位　青組　二位　赤組
三位　黄組

●対抗リレー（男子）
一位　黄組　二位　青組
三位　赤組

●対抗リレー（女子）
一位　青組　二位　赤組
三位　黄組

二日目

一年生

●バレーボール（男子）
優勝　六組

●バレーボール（女子）
優勝　八組

●ドッヂボール（男子）
優勝　七組

●ドッヂボール（女子）
優勝　六組

●気配切り
優勝　四組

●ババ抜き
優勝　六組



二年生

●バレーボール（男子）
優勝　八組

●バレーボール（女子）
優勝　三組

●ドッヂボール（男子）
優勝　六組

●ドッヂボール（女子）
優勝　九組

●気配切り
優勝　九組

●ババ抜き
優勝　三組

三年生

●バレーボール（男子）
優勝　一組

●バレーボール（女子）
優勝　六組

●ドッヂボール（男子）
優勝　八組

●ドッヂボール（女子）
優勝　七組

●気配切り
優勝　五組

●ババ抜き
優勝　五組



七月九日、十日の二日間にかけて体育祭が開催された。昨年に引き続き、全学年合同での開催で、全校生徒が山形市総合スポーツセンター体育館に集い、熱戦が繰り広げられた。生徒たちは赤・青・黄の三軍それぞれの色のクラスTシャツに身を包み、会場は熱気と大歓声に包まれた。学年やクラスを越えて団結し、敵味方関係なく声援を送り合いながら全力で取り組んだこの二日間は、夏の思い出として生徒たちの心の中に強く刻まれたことであろう。

総合優勝　青組
総合準優勝　赤組
総合三位　黄組





部活動体験会

八月二日、十一日の両日で、中学生を対象とする部活動体験会が行われた。両日とも天候が心配されたが、グラウンドコンディション不良のためにやむなく中止した野球部を除くすべての部活動で予定通り体験会が実施された。両日ともに体験会には多くの中学生に参加いただいた。ご参加いただいた中学生の皆様、また送迎等をしていただいた保護者の方々には厚く御礼申し上げます。

また、十月十日から五回実施される「学校説明会」のうち三回で、部活動見学会を予定している。詳細については、本校のホームページに掲載していますので、是非参加していただくようよろしくお願いします。



令和８年度 特待生・奨学生 紹介

日本大学付属高等学校
特待生
菊地　祥（山形六中）
三上　心音（金井中）
津藤　哲仁（舟形中）

日本大学山形高等学校
奨学生
佐直　里瑚（神町中）
東海林　龍（山形三中）
五十嵐条志（山形十中）
小川　結桃（山形三中）
澤渡　美怜（山大附中）
齋藤　璃桜（楯岡中）
粟野　開（山形十中）
伊藤　穂香（山形七中）
小野　珠優（陵東中）
渡邊湊太郎（山形五中）

日本大学山形高等学校
コカ・コーラ育英奨学生
丸山　剛（白鷹中）
佐藤　瑠南（山形四中）
武田　陽稀（山形三中）
髙橋　浩都（楯岡中）
髙橋　成介（山大附中）
堀内　悠希（山形十中）

部活動報告

近畿インターハイ・競泳女子一〇〇Ｍバタフライで六位入賞



八月十五日に滋賀県草津市のインフロニア草津アクアティクスセンターで行われた、全国高校総体の競泳女子一〇〇Ｍバタフライ決勝で三年生の卯月美月（陵南中）が一分〇秒六三を記録し、六位入賞を果たした。

全国大会

ボクシング部

・全国高等学校総合体育大会
【男子】
ピン級　古沢　蓮音（中　山　中）　出場
ライトフライ級　安孫子健琉（橘　　中）　出場
フライ級　中谷丈一郎（山形六中）　出場
ライトウエルター級　小林　綾稀（山形三中）　出場
ミドル級　佐藤　航平（豊　浦　中）　出場
【女子】
ライト級　伊藤　　希（山形四中）　五位
バンタム級　石沢　里沙（山形七中）　出場

水泳部

・日本選手権
【女子】
二〇〇Ｍバタフライ　松浦　優羽（東根三中）　出場
五〇Ｍバタフライ　松浦　優羽（東根三中）　出場
・全国高等学校総合体育大会
【女子】
一〇〇Ｍバタフライ　卯月　美月（陵　南　中）　六位
松浦　優羽（東根三中）　出場
二〇〇Ｍバタフライ［Ｂ決勝］　松浦　優羽（東根三中）　五位
二〇〇Ｍ個人メドレー　卯月　美月（陵　南　中）　出場
・全国ＪＯＣジュニアオリンピック
【男子】
二〇〇Ｍ個人メドレー　松坂　琉星（天童四中）　出場
【女子】
二〇〇Ｍバタフライ　松浦　優羽（東根三中）　二位
一〇〇Ｍバタフライ　卯月　美月（陵　南　中）　五位
二〇〇Ｍ個人メドレー　松浦　優羽（東根三中）　出場
五〇Ｍバタフライ　卯月　美月（陵　南　中）　出場
松浦　優羽（東根三中）　出場

男子テニス部

・全国高等学校総合体育大会
団体　出場
個人シングルス　小笠原慶人（山形六中）　出場
個人ダブルス　多田　修造（山形三中）　出場
齋藤　浩志（中　山　中）　出場

女子テニス部

・全国高等学校総合体育大会
団体　出場
個人ダブルス　大河内奈海（赤　湯　中）　出場
冨坂　美月（山形十中）　出場

写真部

・全国高等学校総合文化祭
佐直　里瑚（神　町　中）　出品
水田　芽衣（楯　岡　中）　出品

放送部

・ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト
テレビドキュメント部門　準々決勝進出
・全国高等学校総合文化祭
ビデオメッセージ部門　出場

運動部

野球部

・春季東北地区高等学校野球山形県大会　優勝
・春季東北地区高等学校野球大会　ベスト８
・全国高等学校野球選手権山形大会　ベスト４

男子バスケットボール部

・藤井杯・高野杯　ベスト８
・山形県高等学校総合体育大会　ベスト８
・東北総合スポーツ大会
須貝　羽空（村上一中）　出場
（山形県少年男子選抜として）
渡邉　維央（大石田中）　出場

サッカー部

・山形県高等学校総合体育大会　三位

剣道部

・山形県高等学校総合体育大会
男子団体　三位
女子団体　ベスト８
個人戦
野口遼大朗（山形六中）ベスト８
・東北高等学校選手権大会
男子団体　出場
個人戦
野口遼大朗（山形六中）ベスト８

バドミントン部

・山形県高等学校春季バドミントン選手権大会
男子ダブルス
奥村　礼仁（山形四中）ベスト16
東海林　龍（山形三中）ベスト16
・山形県高等学校総合体育大会
男子団体　ベスト16
女子団体　出場
・山形県バドミントン総合選手権大会
男子ダブルス
奥村　礼仁・東海林　龍　七位
男子シングルス
東海林　龍（山形三中）　七位

陸上競技部

・山形県高等学校総合体育大会
男子走り幅跳び
渡邉　維央（大石田中）　六位
・東北高等学校陸上競技大会
男子走り幅跳び
渡邉　維央（大石田中）　出場

柔道部

・山形県高等学校総合体育大会
男子団体　出場

卓球部

・山形県高等学校総合体育大会
男子団体　出場

ボクシング部

・山形県高等学校総合体育大会
【男子】
団体　優勝
ピン級
古沢　蓮音（中　山　中）　優勝
長橋　　遼（山形六中）　三位
ライトフライ級
安孫子健琉（橘　　中）　優勝
フライ級
中谷丈一郎（山形六中）　優勝
齋藤　誉一（楯　岡　中）　二位
須藤　蒼太（楯　岡　中）　三位
バンタム級Ａ
村山　智秋（山形四中）　二位
青山龍之伸（山形三中）　三位
バンタム級Ｂ
多勢　純平（山形五中）　三位
ライトウェルター級
小林　綾稀（山形三中）　優勝
ウェルター級
朝倉　大馳（金　井　中）　二位
ミドル級
佐藤　航平（豊　浦　中）　優勝
相原聡一良（山大附中）　三位
【女子】
バンタム級
石沢　里沙（山形七中）　優勝
ライト級
伊藤　　希（山形四中）　優勝
・東北高等学校ボクシング選手権大会
【男子】
学校対抗　二位
一部　ピン級
古沢　蓮音（中　山　中）　二位
一部　ライトフライ級
安孫子健琉（橘　　中）　二位
一部　フライ級
中谷丈一郎（山形六中）　優勝
一部ライトウェルター級
小林　綾稀（山形三中）　出場
一部　ミドル級
佐藤　航平（豊　浦　中）　出場
二部　フライ級
齋藤　誉一（楯　岡　中）　出場
二部　ウェルター級
相原聡一良（山大附中）　出場
【女子】
バンタム級
石沢　里沙（山形七中）　二位
ライト級
伊藤　　希（山形四中）　二位
・東北総合スポーツ大会
フライ級
中谷　一郎（山形六中）　優勝
ライトフライ級
安孫子健琉（橘　　中）　三位

男子バレーボール部

・山形県高等学校総合体育大会
二回戦出場

ソフトテニス部

・山形県春季ソフトテニス選手権大会
瀬野　来琉（天童四中）ベスト32
大津　翔太（山　辺　中）ベスト32

・山形県高等学校総合体育大会
【男子】
団体　ベスト16
【女子】
団体　出場
村形　胡桃（天童四中）ベスト32
渡邉　英恵（山　辺　中）ベスト32
菅野　更紗（山形五中）ベスト32
髙橋　華穏（天童四中）ベスト32

水泳部

・山形県高等学校総合体育大会
【男子】
二〇〇Ｍ個人メドレー
松坂　琉星（天童四中）二位
四〇〇Ｍ個人メドレー
松坂　琉星（天童四中）二位
一五〇〇Ｍ自由形
渡辺　響（大　江　中）二位
【女子】
一〇〇Ｍバタフライ
卯月　美月（陵　南　中）優勝
松浦　優羽（東根三中）二位
二〇〇Ｍバタフライ
松浦　優羽（東根三中）優勝
二〇〇Ｍ個人メドレー
卯月　美月（陵　南　中）優勝
四〇〇Ｍ個人メドレー
松坂　琉星（天童四中）四位
【女子】
一〇〇Ｍバタフライ
卯月　美月（陵　南　中）優勝
松浦　優羽（東根三中）二位
二〇〇Ｍバタフライ
松浦　優羽（東根三中）優勝
二〇〇Ｍ個人メドレー
卯月　美月（陵　南　中）優勝

・山形県高等学校総合体育大会
【男子】
二〇〇Ｍ個人メドレー
松坂　琉星（天童四中）二位
四〇〇Ｍ個人メドレー
松坂　琉星（天童四中）二位
一五〇〇Ｍ自由形
渡辺　響（大　江　中）二位
【女子】
一〇〇Ｍ平泳ぎ
犬飼　美羽（陵　東　中）三位
二〇〇Ｍ平泳ぎ
犬飼　美羽（陵　東　中）三位
四×一〇〇Ｍフリーリレー
二位
四×二〇〇Ｍフリーリレー
二位
・東北高等学校選手権水泳競技大会
【男子】
二〇〇Ｍ個人メドレー
松坂　琉星（天童四中）六位
四〇〇Ｍ個人メドレー
松坂　琉星（天童四中）四位
【女子】
一〇〇Ｍバタフライ
卯月　美月（陵　南　中）優勝
松浦　優羽（東根三中）優勝
二〇〇Ｍバタフライ
松浦　優羽（東根三中）優勝
二〇〇Ｍ個人メドレー
卯月　美月（陵　南　中）優勝

男子テニス部

・山形県高等学校総合体育大会
団体　優勝
個人シングルス
小笠原慶人（山形六中）二位
加藤　悠樹（米沢二中）ベスト４
氏家　諒（山形三中）ベスト８
個人ダブルス
多田　修造（山形三中）優勝
齋藤　浩志（中　山　中）優勝
氏家　諒（山形三中）二位
小笠原慶人（山形六中）二位
加藤　悠樹（米沢二中）ベスト４
重藤　実晴（山形六中）ベスト４
浅野　広樹（楯　岡　中）ベスト４
黒沼　修悟（天童二中）ベスト４
・東北高等学校テニス選手権大会
団体　三位
個人シングルス
小笠原慶人（山形六中）ベスト８
個人ダブルス
氏家　諒・小笠原　慶人
ベスト８
浅野　広樹・黒沼　修悟
ベスト16
多田　修造・齋藤　浩志
ベスト16
加藤　悠樹・重藤　実晴
ベスト16
・国民スポーツ大会山形県予選会
少年男子シングルス
小笠原慶人（山形六中）優勝
（国民スポーツ大会出場権獲得）
氏家　諒（山形三中）二位
（国民スポーツ大会出場権獲得）
黒沼　修悟（天童二中）ベスト８
齋藤　浩志（中　山　中）ベスト８
・東北ジュニアテニス選手権大会
U16シングルス
小笠原慶人（山形六中）ベスト４
（全日本ジュニアテニス選手権出場権獲得）
氏家　諒（山形三中）ベスト８
齋藤　浩志（中　山　中）ベスト16
U16ダブルス
氏家　諒・小笠原慶人
ベスト４
黒沼　修悟・齋藤　浩志
ベスト８
浅野　秀虎（楯　岡　中）ベスト16
五十嵐玲央（山形三中）ベスト16

男子ハンドボール部

・山形県春季ハンドボール選手権大会　二位
・山形県高等学校総合体育大会　三位

女子テニス部

・山形県高等学校総合体育大会
団体　優勝
個人ダブルス
大河内奈海（赤　湯　中）優勝
冨坂　美月（山形十中）優勝
本田　夏凛（金　井　中）二位
秋保　日南（天童一中）二位
個人シングルス
本田　夏凛（金　井　中）ベスト８
大河内奈海（赤　湯　中）ベスト８
・東北高等学校テニス選手権大会
少年男子シングルス
ベスト８
個人ダブルス
大河内奈海・冨坂　美月
ベスト８
本田　夏凛・秋保　日南
ベスト16
・国民スポーツ大会山形県予選会
少年女子シングルス
冨坂　美月（山形十中）二位
（国民スポーツ大会出場権獲得）
大河内奈海（赤　湯　中）三位
・東北ジュニアテニス選手権大会
U18シングルス
秋保　日南（天童一中）ベスト16
大河内奈海（赤　湯　中）ベスト16
U18ダブルス
大河内奈海・冨坂　美月
ベスト16
・東北高等学校テニス選手権大会
団体　ベスト８
個人ダブルス
大河内奈海・冨坂　美月
ベスト８
本田　夏凛・秋保　日南
ベスト16

女子ハンドボール部

・山形県春季ハンドボール選手権大会　二位
・山形県高等学校総合体育大会　三位

文化部

吹奏楽部

・第六八回定期演奏会　開催
・山形県吹奏楽コンクール
金賞・代表
・東北吹奏楽コンクール　金賞

写真部

・山形県写真専門部フォトコンテスト
佐直　里瑚（神　町　中）奨励賞
木村　朱純（山大附中）奨励賞

生物部

・身近な川や水辺の健康診断参加

演劇部

・第六六回定期公演　開催

書道部

・山形県民ふれあい書道展　参加

放送部

・山形県高校放送コンテスト
テレビドキュメント部門　三位

ダンスドリル部

・全国高等学校ダンスドリル選手権大会東北大会
ＳＯＮＧ／ＰＯＭ部門Ｓｍａｌｌ編成　二位
ＫＩＣＫ部門　三位

写真部
第五〇回全国高等学校総合文化祭　出品作品



「遮られても」水田　芽衣（楯岡中）



「Sunset Dance」　佐直　里瑚（神町中）

二年目の海外語学研修・海外留学制度

本校独自の海外語学研修および海外留学制度は、実践的な語学力の向上を図ることに加えて、異文化理解を深め、将来グローバル社会で主体的に活躍するための自覚と国際感覚を高めることを目的として導入している。

自分から話しかけることを意識して、少しずつ会話に慣れるようになった。

休日には友達と登山に出かけたほか、公共バスを使い日帰りで行ける所まで行く「プチ旅行」にも挑戦した。自ら計画を立て、大自然を楽しむという、日本にいる時と違った楽しみがあった。

留学を通して、英語力だけでなく、臨機応変に対応する力、異文化を理解することの大切さも学んだ。これからも常に挑戦する気持ちを忘れずに努力して、将来の目標である海外で活躍することにつなげていきたい。

長期海外留学を終えて

約1年間の留学を終えた梅本さんに、感想を聞きました。

留学先
カナダ・ブリティッシュコロンビア州　ビクトリア

長期海外留学を終えて

梅本　尚（山形一中）

私が長期海外留学に参加しようと思ったのは、長期間の滞在を通して日本と海外の生活や学校、価値観等の違いを体験したいと考えたからだ。

現地の高校では、Grade11（日本の高校二年生）の生徒として授業を受け、部活動にも参加した。最初は英語が聞き取れず何度も大変な思いをし、言葉の壁を感じることもあった。しかし、





仲間とともに

なお、今年度の実施状況として、約六週間の海外語学研修プログラムに生徒三名が参加した。

①中期海外語学研修
研修期間
❶約六週間
（七月中旬～八月下旬）
❷約十一週間
（七月中旬～九月下旬）
研修先
フィリピン・セブ島
特　徴
マンツーマンレッスンや集中講義を通じて、短期間で格段の英語力向上とコミュニケーション能力の修得を目指します。

②長期海外留学
留学期間
約一年間
（八月出発～翌年六月帰国）
研修先
カナダ・ブリティッシュコロンビア州　ビクトリア
特　徴
現地校での授業受講やホームステイ体験を通じ、語学力のみならず現地の文化や習慣を深く学び、自立心と国際的な視野を養います。

未来への第一歩！三年生進路ガイダンス開催

勝負の夏を目前に控え、重要な時期を迎えた三年生を対象に、進路意識を高める二つの大きな行事が開催された。

六月二十日の「国公立大学進学講演会」では、最新の入試動向や迫り来る夏休みに向けた具体的な学習法、日々の心構えについての講話があり、生徒たちは真剣な表情で熱心にメモを取っていた。

六月二十四日の「日本大学合同学部説明会」では、各学部の担当者から特色あるカリキュラムやキャンパスの魅力を直接聞いた。大学での学びをより身近に捉え、将来の選択肢を広げる貴重な機会となった。

熱気あふれる二つのガイダンスを経て、受験生としての自覚とモチベーションが一段と高まった三年生。それぞれの夢の実現に向かって力強く一歩を踏み出した生徒たちを、学校全体で温かく寄り添い、全力でサポートしていく。





日本大学スマイルガールズプロジェクト

八月二十一日、二年生進学コース在籍の女子生徒を対象に『日本大学スマイルガールズプロジェクト』が開催された。今年で三回目の開催となる当企画は、生徒たちが日本大学の女子学生の活気ある状況や、各学部の魅力を知ることを目的としている。今回は経済学部・商学部・国際関係学部・生産工学部・生物資源科学部で学ぶ六名の本校卒業生から、大学で学んでいる内容や学生生活について説明を受け、生徒たちは日本大学への関心を高めることができた。また、各学部に分かれてのワークショップにおいて、





生徒たちは高校時代の学習方法や取り組みについて質問するなどして、今から行動できることや、進路希望を実現するための心掛けに関して理解が深められたようである。

第十五回ケンブリッジ大学サマープログラム

ケンブリッジ大学は日本大学の学術交流提携校の一つで、付属校生向けの研修が毎年夏と春の二回行われる。この夏、本校からも二名が選抜され、研修に参加した。

ケンブリッジでの学び

二年　髙橋　浩都（楯岡中）

夏休み、約三週間イギリスのケンブリッジでの海外語学研修に参加することとなった。ケンブリッジは古い町並みの残る歴史ある都市で、日本と比べるとても涼しく、過ごしやすい場所だった。授業は基本すべて英語で行われ、語学力を高めるためにはちょうどいい機会だった。しかし、英語の本場なだけあって、流暢な英語を聞き取るのは難しい場面も多々あった。しかし、時間が経つにつれて、英語を聞き取るのが当たり前という事実が染みついていき、最終的には語学力が上がったと思う。個人的な話にはなるが、初めての海外渡航で、このような経験ができて非常に良かったと思う。ここには書けていない学びもたくさんあり、それらを今後の学習、そして生活と人生に活かしていきたい。





髙橋浩都さん（左）髙橋成介さん（右）

踏み出した一歩、広がる世界

二年　髙橋　成介（山大附中）

この夏、私は十八日間のケンブリッジ大学サマープログラムに参加した。最初は、周りの参加者の高い英語力や、ネイティブの英語のスピードに圧倒され、自分から英語で話しかけることに不安を感じていた。しかし、その気持ちを変えてくれたのが、二日目のフォーマルディナーである。隣の席に座っていたケンブリッジ大学の学生に思い切って話しかけると、とてもフレンドリーに接してくれ、食事が終わるまで楽しく会話を続けることができた。

この経験から、英語で会話することに自信がつき、その後は街の人や先生にも自分から積極的に話しかけるようになった。聞き取れないことがあっても、聞き返したり別の言葉で伝えたりすることで、臨機応変に対応できるようになった。今回の研修で得た自信をこれからの英語学習にも活かし、何事にも積極的に挑戦していきたい。



日本大学海外研修　海外研修報告

数学科　教諭　髙橋　佑輔

令和八年度海外派遣研究員として、オーストラリアのシドニーを訪問した。日本とオーストラリアの教育制度の比較調査のために、現地の学校でボランティアを行いながら研究を進めた。オーストラリアは連邦制の国であるため、州ごとに教育制度が異なる部分もある。日本でいう大学入学共通テストも、オーストラリアでは州ごとによって試験内容が異なるため自分の住む州の大学に進学する学生がほとんどであるそうだ。また日本の大学入試における推薦入試制度がなく、学校の成績と州統一テストの成績で大学の合否が決まるため、高等学校においてもいわゆる「知識・技能」が重視され授業が展開されているように感じた。しかし政府としてはコンピテンシー（資質・能力）を育むことを促しており、テストで測りにくい非認知スキルをどのように子どもに身につけさせるのか、どのように評価をしていくのかといった課題が日本と同様にあることを感じた。

またシドニーから北へ電車で二時間程のところにある日本大学ニューカッスルキャンパスの見学も行った。日本大学から連携先であるニューカッスル大学への交換留学生や短期留学の学生を対象としたキャンパスであり、教室と宿泊棟がある。ニューカッスル大学へのアクセスも良く、生活しやすい都市であった。

今回非常に貴重な経験をさせていただいた。この経験を自身の研鑽だけではなく、生徒にも還元できるようにしていきたい。





学校説明会のご案内

■第１回　令和８年 **10月10日(土)**
■第２回　令和８年 **10月24日(土)**
■第３回　令和８年 **11月　７日(土)**
■第４回　令和８年 **11月21日(土)**
■第５回　令和８年 **12月　５日(土)**

受　付　　８：50～ ９：20
オープニングセレモニー　９：20～ ９：30
説明会　　９：30～10：50

以下は希望制になります

・特進コース説明会　11：00～11：20
・部活動見学　11：00～12：00
・個別相談　11：00～

※全体会・特進コース説明会・部活動見学は，事前の申し込みが必要です(定員制)。
※本校ホームページからお申し込みください。
［受付開始：令和８年９月２日(水) 正午，受付締切：各回の３日前の正午］
上の二次元バーコードからもお申し込みができます。
※定員になり次第，締切前であっても受付を終了する場合があります。
※上履きをご持参ください。
※部活動見学を実施する部については，本校ホームページをご覧ください。
※状況により予定を変更する場合がありますので，参加前に本校ホームページでご確認ください。
※上記以外の期日に学校見学を希望される方は，事前にお電話の上ご来校ください。

桜華同窓会総会・懇親会が盛大に開催!

７月４日(土)にパレスグランデールにて第28回桜華同窓会総会・懇親会が開催され，出席会員の慎重な審議を経て，すべての議案が承認された。懇親会には約350名の出席があり，盛会裡に終了した。

２年後に創設70周年という大きな節目を迎える本校。７月13日(月)には桜華同窓会から本校への寄付金贈呈式が行われた。贈呈式では，鹿野高志会長から花里昌昭校長へ「寄付金13,000,000円」の目録が手渡された。この寄付は，本年度の総会において満場一致で可決されたことにより実現した。花里校長からは「新校舎完成後の備品購入などに，大切に活用させていただきます」との謝辞があった。

桜華同窓会会員の皆様の温かいご支援とご協力に，心より感謝申し上げます。





日本大学工学部オープンキャンパス

八月一日、福島県郡山市にある日本大学工学部のオープンキャンパスが開催された。本校からは進学コースの一年生を中心に、約百四十名が参加した。今年度も工学部のご厚意で、本校と工学部間を結ぶ送迎バスを出していただいた。オープンキャンパスはウェルカムセレモニーに始まり、その後は約三時間半、生徒たちはさまざまなブースでの講義やワークショップ、学食での昼食などを楽しんだ。モデルロケットの発射、電動キックボードの乗車、さらには、橋梁の運搬、架設を行う「スーパーキャリア」の操作など、貴重な体験の連続だった。その他にも個別相談コーナーや在学生との座談会などがあり、充実した時間となった。今回のオープンキャンパスの参加生徒の多くは、文理選択を控えている。文系を希望している生徒にも、理系を希望している生徒にも、将来の進路を考えるうえで大きな刺激になったようだ。









着々と進行中! 校舎新築及び耐震改修工事

現在、校舎新築及び耐震改修等の工事が着々と進行している。新一号館の三階躯体工事が進み、隣にある現三号館の高さに近づいてきた。目にみえる変化に、新しい学び舎への期待も高まる。工事に伴い生徒の皆さんには不便をかけているが、日頃の温かい協力に心から感謝したい。今後も安全最優先で工事は進められていく。



編集後記

七月に発災した熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

一学期を振り返ると、授業、部活動、各種行事のいずれにおいても、生徒たちは挑戦を恐れず、自ら考え、仲間と協力しながら充実した学校生活を築いてきた。その姿は本校の大きな誇りであり、他校にはない魅力である。

全校生徒が参加する体育祭は、今年で二年目を迎えた。学年やコースの枠を越えて声を掛け合い、一体感と活気が感じられた。また、学園祭ではステージ発表を公共施設にて実施した。保護者の皆様にも生徒の日ごろの文化活動の成果をご覧頂く機会となった。

さらに、校舎の改築・耐震化工事も着々と進み、日々、校地の景観が変化している。新校舎が少しずつ姿を現す様子には、学校の未来への期待が一層高まる。変化する環境の中においても、本校が大切にしてきた学びや人とのつながりを継承しながら、生徒一人ひとりがさらに成長できる学校であり続けたい。

二学期も一歩一歩挑戦を重ねます。魅力ある学校づくりの更なる推進にご期待ください。

日本大学山形高等学校広報部
〒990―2433　山形市鳥居ケ丘四―五五
電　話　〇二三―六四一―六六三一(代)
F A X　〇二三―六四一―六六三四
U R L　https://www.ymgt.hs.nihon-u.ac.jp
印　刷　㈱大風印刷
写真提供　フォトイシヤマ